

広報あかいけ

発行所 赤池町役場 編集 総務課 文書広報係 ☎(代表) 2004
印刷所 赤池印刷 毎月 1回発行

町の人口

人口	9,500人 (増15)		
男	4,547人 (増4)		
女	4,953人 (増11)		
世帯数	3,050世帯 (増1)		
出生	11人	転入	30人
死亡	1人	転出	25人
(56年2月末日現在)			

() 内は前月との増減

町財政再建にまい進します

香月町長『施政方針を公表』



とは、住民の公共の福祉を守ることであり、相当な覚悟と努力が必要と考えられ、また住民の皆様には絶大なご理解とご協力を得なければなりません。

赤池町がこれから取り組む『自主再建』は、地方自治を守るといふことが理念であります。財政再建をやるには、再建専用団体の場合でも、自主再建の場合でも、いずれの道を通っても厳しさに変わり

再建にご理解ご協力を

三月定例町議会が、三月十二日から二十七日まで行われ、本年度予算や条例の改正など二十一議案が可決されました。
この定例会の開会にあたって、香月町長は、本年度の施政方針を次のように発表しました。

【施政方針】

国もそうではありますが、本年度の一番の課題として財政の再建を軌道に乗せることとあります。これは国、地方を通じての行政の減量であり、財政の弾力性の回復であります。
赤池町の財政は、一般会計及び特別会計ともに極度な赤字であることはご承知のとおりであります。当町の財政赤字の起因は、これまで県下で赤字を出して財政再建を実施した地方公共団体とは異なる点があるというところであります。赤池町が財政再建を実施するこ

(とじて保存してください)

生ずる恐れがあります。私としては、このようになることは好みませんし、何んとかしてこの苦境を乗り越えていくことに全力を傾注したい所存であります。

このことから、本年度は地方公共団体の機能を失くさないように弾力ある財政再建に最大の努力を注ぎ、加えて産炭地切捨てといわれるローカル線の廃止問題や、失業対策事業等を含む筑豊産炭地諸問題の実態を上部機関へ訴えて行くとともに、また町部の鉱害復旧事業の認定等についても積極的に推進していく考えであります。これとあわせ、内政的には財政再建に向けて皆様のご意見を十分に拝

はないということとあります。そういう中で、住民の皆様のご理解とご協力を得て、自らの意志と手で再建をやるということとありますから、甘えの構造があつてはならないと思っております。

準用再建団体となりますと、地方公共団体としての機能が制限されることは勿論のこと、具体的に、町独自による福祉行政の扶助費等や各団体活動助成金等に大きな制限を受けることとなります。町職員に対しても、人員削減や給与引き下げのほかに、分限解雇も

聴し、生活の安定と福祉の向上にとって必要不可欠な事業を重点選択し、その効果を最大限に活用できるよう、地域社会の連帯を深め、たくましく体制づくりに努力して参りたいと思っております。

今年度は国際障害者年でもあり、初年度は今年度は、啓発活動及び各種記念行事を実施し、障害者の皆様に対して適切な援護、訓練、治療及び指導等、障害者の皆様の社会への身体的、社会的援助を行って参りたいと思っております。同和対策事業につきましても、

特別措置法の三年間の延長はなかったものの、これも来年三月で期限切れをむかえようとしております。この延長期間内でも、すべての問題は解決するとは考えられませんが、この再延長と同和対策事業等諸問題解決に向けて更に推進していく考えであります。

昭和五十六年度予算の編成につきましましては、以上のような基本方針を踏まえて、財政再建計画に添うよう予算を編成して参りました。単独事業はできるだけ避けております。消費的経費についても削減をしております。又、消費的経費のうち、需用費と備品費は一括管理をして、なお一層の節減をしていく考えであります。

このようことから、赤池町の財政の実情を察していただき、財政再建を行っていくについて、職員は勿論のこと、議会議員の皆様方をはじめ、住民の皆様の大なご理解とご協力をお願い申し上げます。

